

# 災害環境研究の俯瞰図

2012年4月

災害からの復興とは、社会と自然を健全な形に作り直すこと、すなわち、広い意味での地域環境の創造です。被災地の地域環境の正確な実態把握と災害の影響評価、ならびに、安心・安全な社会の創造が求められることになります。震災による甚大で複合的な被害に対処するためには、広く諸分野の研究者が相互に連携し、また、社会のさまざまな活動主体と緊密な連携を図らなければなりません。

国立環境研究所は、人の健康への影響解明、生物生態系への影響評価、地域の汚染への対処、震災廃棄物の処理、環境保全に配慮した地域・社会の復興、環境リスクの管理など、震災後多くの研究を実施してきています。これら多様な研究は、被災した方々、政府や自治体、多くの市民団体などによる復興活動への研究面からの支援となることを目指しています。

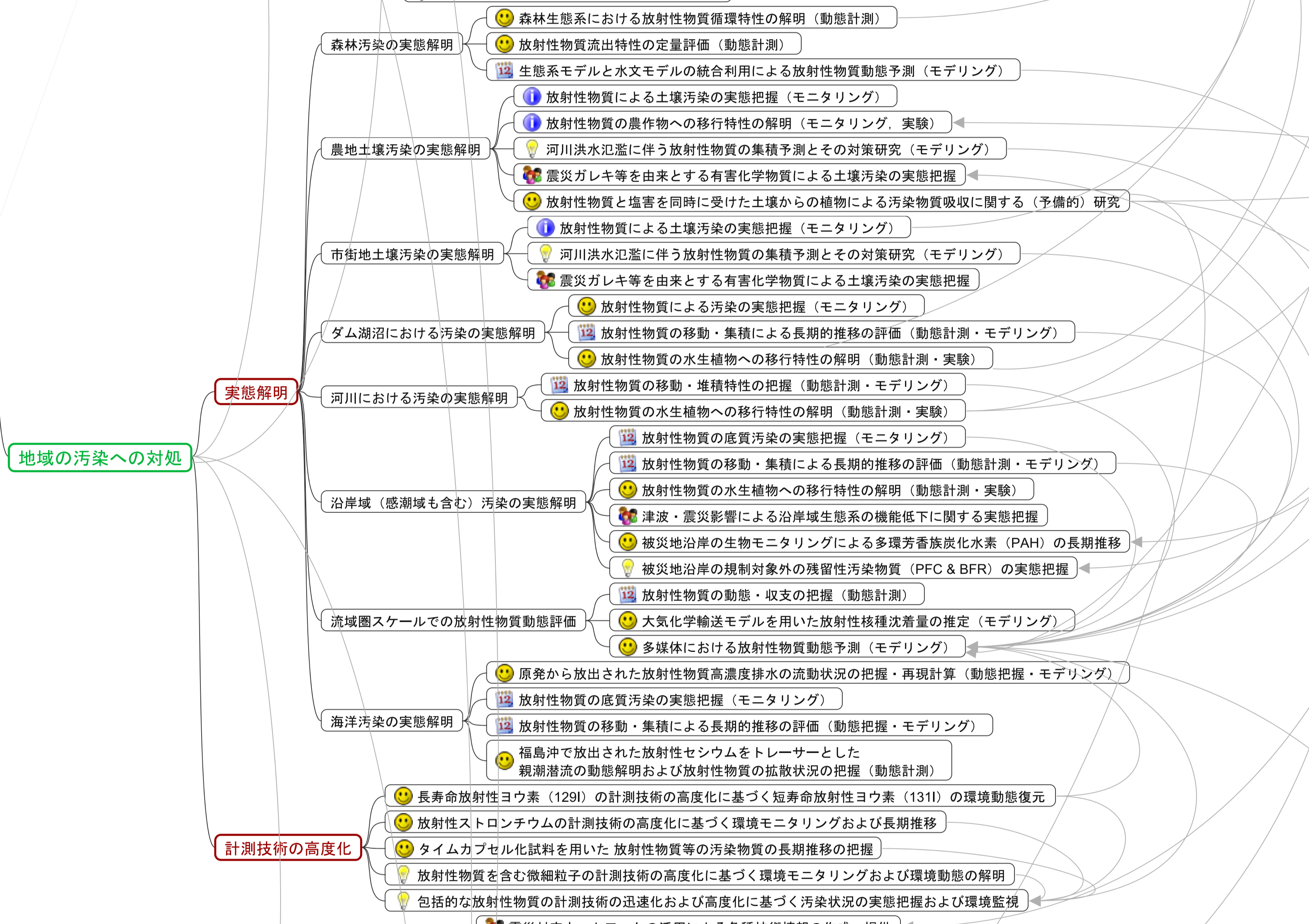
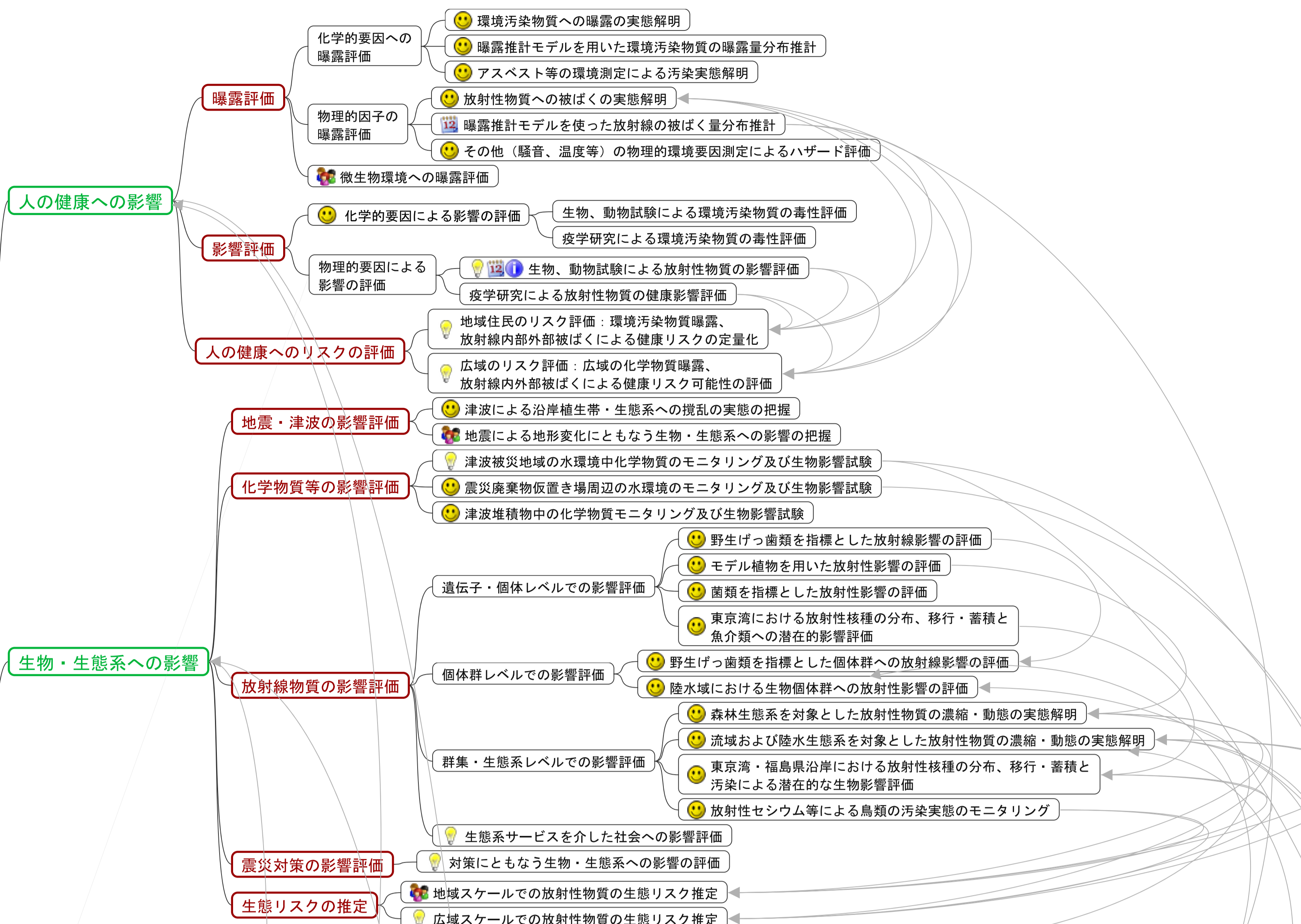
国立環境研究所は、これら研究の全体像を広く世界に説明し、社会とともに復興のための研究の理念を共有しなければならないと考えます。

本俯瞰図は、東日本大震災からの復興と環境創造のために、国立環境研究所で実施しているさまざまな研究課題を、災害環境研究として俯瞰的に整理したものです。現時点ですでに着手されている研究に今後必要な研究領域を加え、研究成果の相互関連や研究上の連携と展開の可能性を、多角的にまた客観的に把握できるように構成しました。

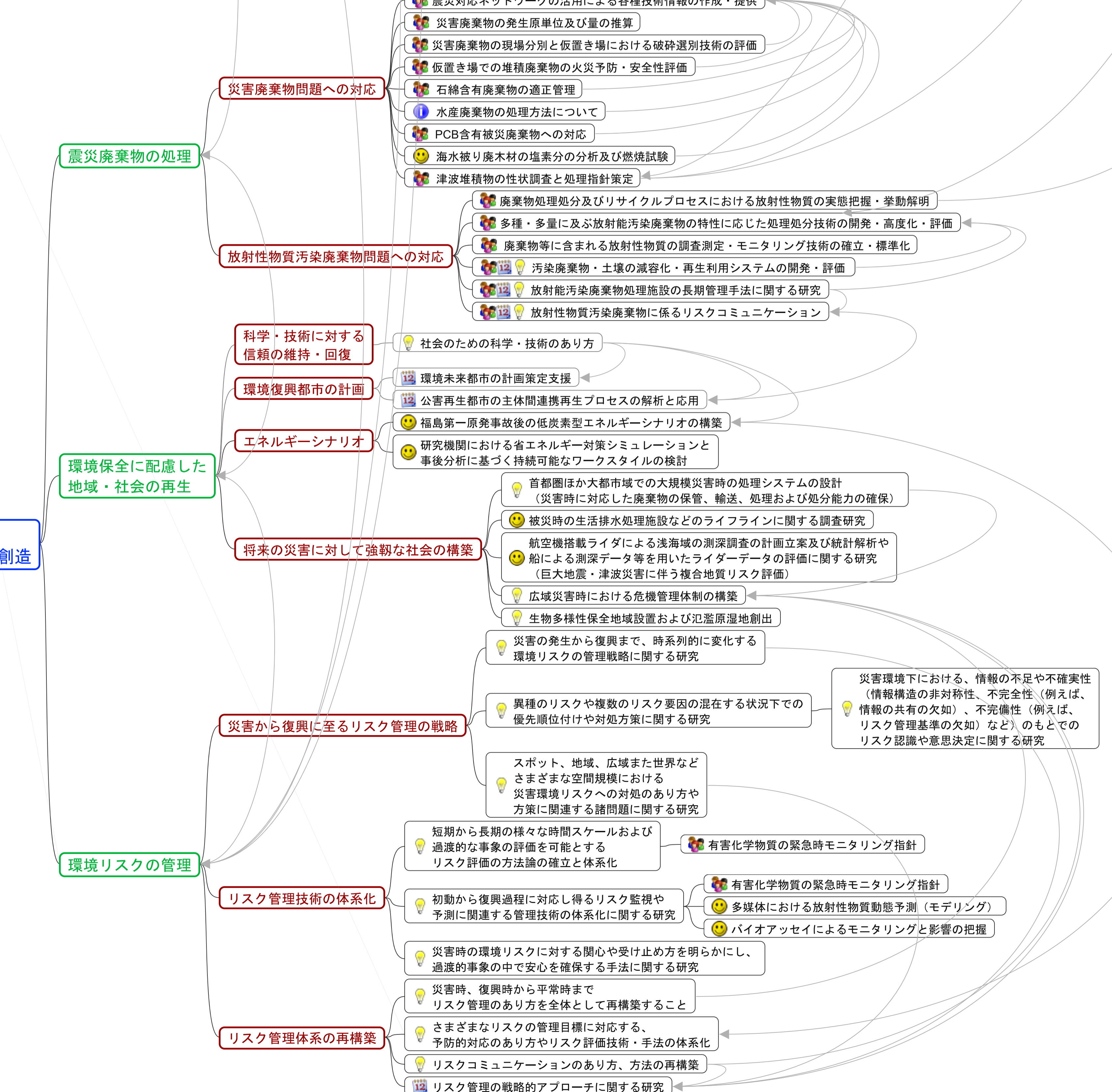
このような俯瞰により、研究の客観的な位置づけを明らかにでき、社会に広く研究を理解していただくことができると期待しています。また、限られた研究資源を最も効果的・効率的に投入して最大の研究成果をあげ、それらが活用されやすくなるためには、総合的な視野にたつて全体構造を俯瞰して示すことが必要です。

## 震災からの復興と環境創造のための環境研究などの課題

### 環境の実態把握と影響評価



### 震災からの復興と安心・安全な社会の創造



- 国環研で実施中の研究課題
- 情報提供を受けている研究
- H24年度以降に実施する予定の研究
- 他機関と共同で行っている研究
- 取組むべき研究課題